

送りがなプリント はってん①(もとの かたちにもどす)

なまえ

小6／もとの 形に もどす(1／5)

ひづけ

形が かわった ことばを もとの かたちにもどす

文の 中の かたち

蒸した

→

もとの かたち

蒸す

もとの かたちを 声に 出して 言ってから、かん字の あとに 送りがなを 書く。

線の ことばを、もとの かたちにもどして かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) この こは まだ 幼くてあるけない。

もとの かたち

幼

(2) おまつりで おみこしを 担いだ。

もとの かたち

担

(3) いのちは 尊くたいせつだ。

もとの かたち

尊

(4) おじさんは ぎんこうに 勤めます。

もとの かたち

勤

(5) おちついて やれば けいさんを 誤らない。

もとの かたち

誤

(6) きの中の テストは とても 難しかった。

もとの かたち

難

(7) たりない ぶんは みんなで 補っていく。

もとの かたち

補

(8) あめが 激しく ふって きた。

もとの かたち

激

(9) 「おとしよりを 敬おう」と きめた。

もとの かたち

敬

(10) ころんだ とき みんなが 優しかった。

もとの かたち

優

(11) ふゆでも ひなたは 暖くなる。

もとの かたち

暖

(12) ねぎを こまかく 刻んで いれる。

もとの かたち

刻

できたら:もとの かたちを 声に 出して、文の かたちと くらべて みよう。

